

十字架、復活、そして「その後」

(ルカ二四・二五、四五〜四九ほか)

イースターおめでとうございます。

今日はルカ福音書二四章、有名な「エマオの途上」でのイエス・キリストと弟子たちの会話からイエス・キリストの十字架と復活、またその後に来る事柄について考え、この偉大な真理を理解し、体験したいと願っています。

一、キリストの十字架と復活

キリストの十字架と復活は旧約聖書の中ですでに預言されていた真理ですから、キリストご自身が聖書全体を教えることによって自らを解き明かされたことは自然なことです。創世記三・一五は原福音と
言われ、そこには人間と悪との戦いの後、女の裔(すえ)に生まれるイエス・キリストによる勝利が描かれています。また申一八・一五〜一八では、モーセのようなひとりの預言者が起こされる事が語られており、イエスに出会ったピリポはイエスこそがその成就だと考えました(参・ヨハネ一・四五)。ちなみに聖書でいう預言とは、神に選ばれた人が神の言をあずけられて

これを忠実に人々に語り伝えたことであり、「十日後にどこそこに火事があるとか、事件が起こる」といった類のものでないことは覚えられねばなりません。

イエス・キリストは僅か三十数才でその生涯を終え十字架上で死んで下さったのですが、それは実に「私たちのため」でありました。聖書には十字架上でイエスが語った言葉が七つ残っていますが、その一つが有名な「わが神、わが神どうしてわたしをお見捨てになったのですか」という叫びでした。私たちはともすれば「神の子であるお方が何故ここまで苦痛を負わねばならなかったのか」などとも考えてしまいがちですが、この苦痛は本来私たちが負うべきものです。イエスはこの苦痛を私たちの代わりに背負って下さいました。使徒パウロもキリストがすべての人々の罪を負って下さったのは、人々が救われて神の力を体験するためであったと語って十字架の真理を深めています。

人生を暗く考えていませんか。人生は悲しみと苦痛ばかりだと考えていませんか。しかしイエスの十字架には神の救いの力が示されています。そこにあるのは生き抜く力、希望の力、逆境を変える力です。それは罪の誘惑に負けやすい弱い人間性を変える力です。プロ野球選手の賭博への関与がメディアをにぎわしていますが、どんなに豊かな才能を持つっていても、目の前のお金に目が眩みそれ

に繋がってしまう。人生は「何に繋がっているのか」が実に大切なのです。

愛する兄弟姉妹、私たちは神の力、救いの力に繋がりが続くことが大切です。新約聖書の「力」は原語ではデユナミスといい、衝撃的で影響力のあるという意味があります。十字架の力を確信しようありませんか。救いの力は私たちを常に励まし勇気づけるのです。アッシジのフランチェスコは、一二〜一三世紀、日本では平家と源氏、親鸞の時代に生きた宗教者ですが、元々はイタリアの豪商の長男で贅沢三昧な生活を送っていました。しかし隣の町での戦争に巻き込まれて一年間牢獄生活を体験したり、病気になるってハensen病患者と出会ったりする中で内省を深め回心しました。僅か三年半の公生涯の中で人々のために徹底して自らを捧げていくキリストの姿に魅了され、彼自身も大きく変えられたのです。「わたしをあなたの平和の道具としてお使いください・・・」で始まる彼の「平和を求める祈り」はあまりにも有名ですが、こんな素晴らしい祈りのことばは一体何処からでてきたのだろうと思わずにはおれません。その秘訣はやはり彼が体験したイエスの十字架の救いにあるのです。

二、十字架と復活の「後に」

ルカ二四・四五以下にはイエスが弟子たち

に復活のめぐみを与えるために「心を開いて」「こころの目を開いて」とあります。つまり

私たちがキリストのよみがえりを信じられたということは、自分で信じたように考えていても、実はキリストがあなただの心を開いて復活への信仰を与えて下さったということなのです。これだけでも素晴らしいのですが、イエスはさらに「いと高き所から力を着せられるまで都に留まるように(四九節)」と教えられています。またヨハネ二〇・二二、二三には「聖霊を受けなさい」とあり、さらに使徒一・四以下を読むとルカ福音書に書かれた「父の約束」とは聖霊の恵みであることが記されています。水のバプテスマの恵みと共に、さらに聖霊のバプテスマも受けると語られているのですから、これを聖書が語られている真理として理解することが大切です。

なぜならこれも旧約時代に預言書の中に約束されていたことばだからです。そして聖霊のバプテスマが父の約束として語られている目的は私たちが力あるキリストの証人となるためです。この恵みは信仰生活を豊かなものとしめます。神様とのすばらしい交わりの経験を深めます。

どうぞ、この真理を理解して十字架の救いと共に、キリストの復活を確信し、キリストの証人としてさらに主に用いられるクリスチャンとして成長していきましょう。主の祝福がありますように。